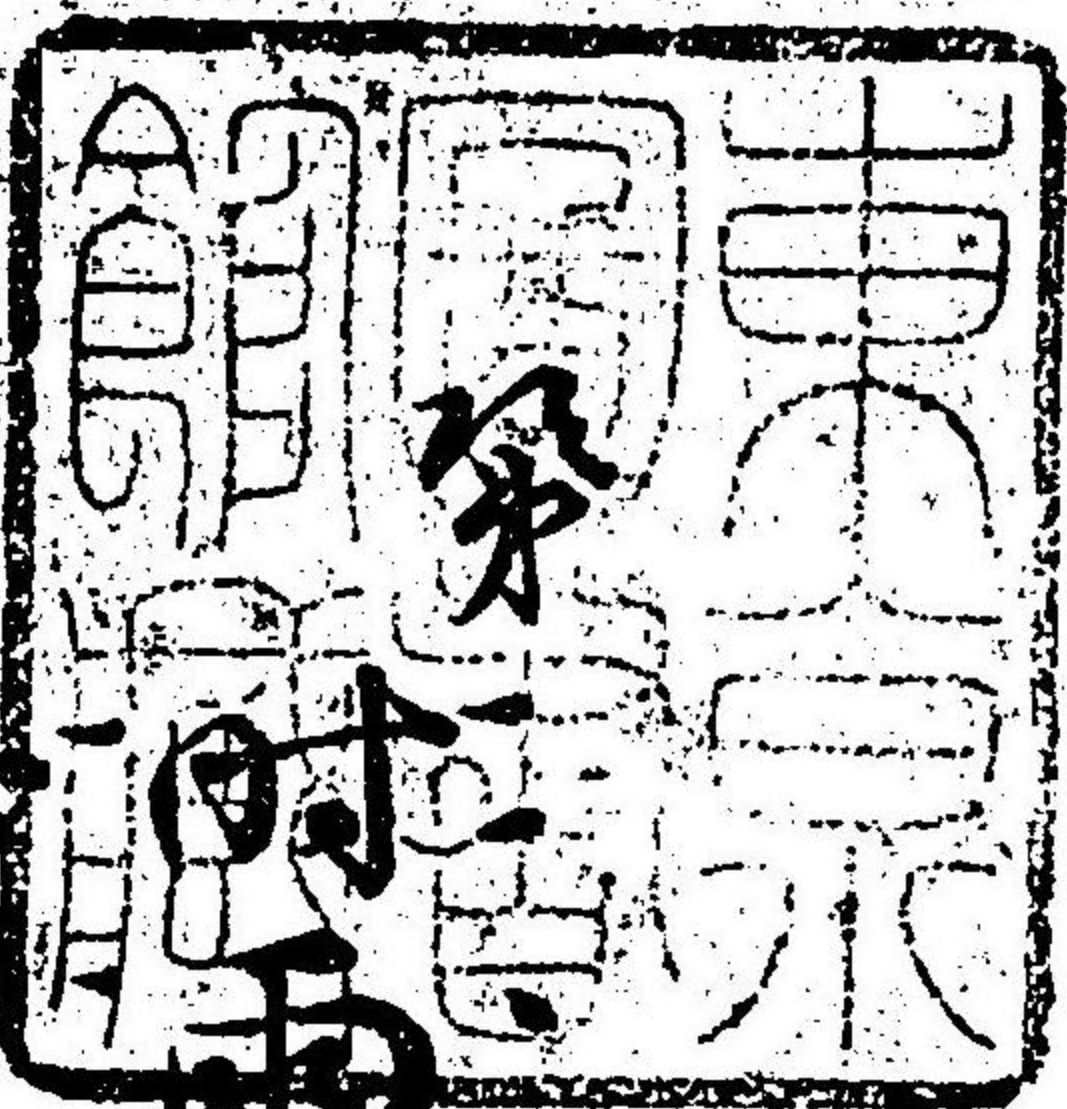


特42
459

紅葉狩
21

東 京 圖 書 館				
一 〇 冊	74 號	四 七 架	音 樂 函	和 書 門



紅葉梅

時雨

とさく

紅葉梅

くさく

路と尋

尋

思

思

女

女

女

女

もじりも今もか白雲の

音響もたはらふ

人社みぬ村のまへ庭の

つゝの便よきつゝの便よ
思早白よ

らゝの便よきつゝの便よ
我女上の便よ

まゝの便よきつゝの便よ
女上女上の便よ

情あはれつゝの便よ
村雨の便よ

一樹の陰よ早あまりて
一行の流女上

きとくめ酒女上きつゝの便よ
見とて女上流

まゝの便よきつゝの便よ
流よ女上

留早し女上の便よ
若女よ女上あはれ

よりくめ酒女上きつゝの便よ
路の菊の酒

行く若女上の便よ
あまりて

あ女上の便よきつゝの便よ
捨女上の便よ

情の盡女上の便よ
舞女上の便よ

村早の便よきつゝの便よ
紅女上の便よ

と早の便よきつゝの便よ
若女上の便よ

ねらけの藤むく袖も紅葉衣乃
ハレコトくれみ并深き夜さり
ハレコト此世の人
た思ひまの胸ハレコトらうらう計らう
カセ下た思ひまの胸ハレコトらうらう計らう
葉のしり計らう思ひまの
かやも屋よ向ひかうらう
るあめは着く様も思ひまの
カセ下た思ひまの胸ハレコトらうらう計らう

飲酒ともしりあへ邦姫ま語も
たよハレコト花うらうハレコトかふるハレコト女ま
世も類たうらひあハレコトの山様も
たらめもらあハレコトん上女や思入の
とくも前女の葵う清うあ
ま情しハレコトるハレコトあハレコトしハレコト道の
るの草葉の露のあハレコトまハレコトまハレコト

かゝるに飛ちかひむとくを免却の
まんある所へ通ひ可と頭をつむ
てあゝんとまを切たりひ給へ
初に畏れていたまのゆるを引を
ろしりし處へ忽免却を志す人
給ふ威勢の頼もききりきき

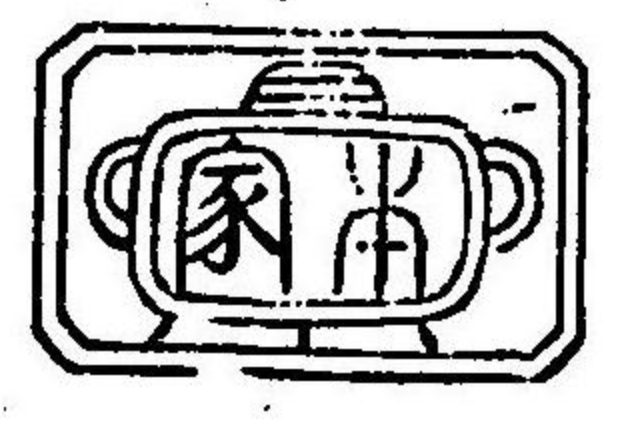
右之本者觀世太夫織部
章句真本令放行畢

正徳六丙申歲弥生

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治十七年三月六日翻刻御届
同年四月十二日別製本御届

定價四錢

翻刻人

京都府平民

寺田熊次郎



下京區第五組麩屋町

錦小路五梅屋町十三番戶

